

りつめい

題字・末川 博名誉総長

Ritsumeikan University
Alumni Association
立命館大学校友会報

RITS
立命館大学

No. **224**
APRIL 2006

特集1

学び、語らい、励ましあい、
校友会を楽しもう

特集2

立命館孔子学院
日中友好の架け橋として

Brilliance
輝くひと
57

「強い会社になりたい」との願いに応える

野村證券株式会社 企業情報部 マネージャー
森 信宏さん（00院政策）





特集1

学び、語らい、励ましあい、 校友会を楽しもう

若手校友インターネット座談会
紫合由紀子さん・小嶋 敦さん・角本紗織さん
大西克樹さん・Alvin Leeさん

3

特集2

立命館孔子学院 日中友好の架け橋として 周 璋生立命館孔子学院長

18

輝くひと

森 信宏さん

1

RITSUMEI INTERVIEW

日本テレビ ドラマ制作部プロデューサー
前田伸一郎さん

8

恩師の窓

山口 定 名誉教授 (政策科学部)
朝日(関下) 稔 教授 (国際関係学部)

11

キーワードから見る現代

エイジング

高橋正人 産業社会学部教授

12



自由席

14

校友会ネットワーク

15

都道府県等校友会連絡先一覧

16

Rits One ときの人

21

大谷俊介さん

立命館学園政策ニュース

22

キャンパストピックス

24

学生のスポーツ&イベント

26

INFORMATION

28



26

「強い会社になりたい」との願いに応える



表紙の人
野村證券株式会社
企業情報部 マネージャー
森 信宏さん
(00院政策)

このところ、とみに話題に上るM&A (企業の合併・買収)。巷の関心は、敵対的買収といわれる刺激的なケースに集まりがちであるが、「事例の99.9%は、当事者双方がお互いの企業価値を高めるというM&Aの本来の目的に沿ったものです」と森さんは言う。「専門知識を生かして、収益力の高い、強い会社を作るお手伝いができる。プロとしての醍醐味を感じられる仕事です」。

政策科学部から同研究科に進んだが、ベンチャー起業への興味から、大学院では経営学研究に軸足を移した。「M&Aを学べば経営戦略と財務の両方に明るくなれるとの助言を得て、専門のコンサルティング会社に入ったところ、M&Aアドバイザーの仕事の魅力が起業への関心をしのぐようになりました」と森さん。一昨年の秋、野村證券に移り、より多くの案件に携わるようになった。

仕事の核は、企業価値の徹底的な評価・分析にある。顧客企業や対象企業の強み弱みを検討し、将来の市場規模等も考慮しつつ、特徴を最大限に生かせるプランを組む。そして相手企業との交渉をまとめる。「お客様を深く理解し、付加価値の高い提案をし、フェアな態度を貫くことで、はじめて信頼を得られます。当事企業はそれぞれ別のアドバイザーを立てますが、自分のお客様に認めていただけた時はもちろん、先輩から「うちも野村に頼めばよかった」と言っていたら、なおのこと嬉しいですね」。顧客企業の将来を背負う緊張感は並々ならず、知力・体力・気力の全てが問われるが、真正面から臨む。

北海道から、亡き父や叔父に続いて立命館を目指した。妻・義弟を含め、5人もの立命館ファミリー。「父が学生時代の話をする時、いつも明るく楽しそうでした。父の笑顔信じて間違いはなかった。立命館で見つけたチャンスや仲間、何より妻との出会いに感謝しています」。

(写真・小幡 豊 文・寺田直子)

学び、語らい、励ましあい 校友会を楽しもう

Special 1
特集 1

新校友歓迎企画 インターネット座談会

新校友の皆さん。

ご卒業ならびに校友会ご入会、誠にありがとうございます。

校友会は学生時代を懐かしむだけの会ではありません。

校友同士の付き合いの中で、

自分が知らない様々な世界を知り、人間としての幅を広げることや、
切磋琢磨しあい、励まし励まされること、
それが校友会の効用であり、妙趣ではないでしょうか。

でも、校友会活動って、どうやって始めるの？

始めた後はどうなるの？とお感じの皆さんのために、
積極的に校友会活動に参画している若手校友の方々に、
メーリングリストを使って体験談を語り合っていました。
新校友の皆さんも、ぜひ後に続けてください。



京都春風会新年会



紫合由紀子さん
('97産社)



小嶋 敦さん
('00法)



角本紗織さん
('01産社)



大西克樹さん
('03経済)



Alvin Leeさん
('04APM)

Let's enjoy Alumni Association Activities!



学び、語らい、励ましあい

校友会を楽しもう

「校友会初心者だった頃」

— 皆さんこんにちは。このメーリングリスト座談会では、日頃校友会活動に参加されてお感じのことを、ざっくばらんにお話し下さい。まずは自己紹介がてら、皆さんの初めての校友会体験がどんなものだったかを教えていただけますか。

角本 教育コンサルティング&広告の事業をしている新米社長の角本です。よろしく願います。

私の拠点は神戸・大阪なんですが、校友会との出会いは、東京で「新人歓迎会再会の集い」の幹事をしていた友人に誘われて、東京出張のついでに参加したことでした。それまでは校友会と聞いても「年配の方ばかりで、堅苦しいだろうな」と思ってた敬遠していたんです。ところが行ってみてびっくり。若手がいっぱい楽しくて、特にオートバックスセブン代表取締役で、東京校友会会長（本部副会長）の、住野公一さんとの出会いが印象的でした。赤いフレームのおしゃれな眼鏡をかけられていて、デザイナーさんかと思いました。以来、ちよくちよく参加させていたでいます。

大西 こんにちは、大西です。私も起業してスポーツ関連のビジネスを手がけています。卒業式とセットであった「校友会入会式」の時には、「それ、何やねん」という程度で興味は持ちませんでした。

紫合由紀子

（'97産社）

東京校友会幹事、女性セミナースタッフ。大和ハウス工業（株）、ソニー・ヒューマンキャピタル（株）を経て派遣会社でのコーディネーター、レンタルボックスギャラリー「WANOMA」の運営に携わる。



SHIGO Yukiko

二か月後、

ある先生から「京都春風会という若手の校友会の新歓イベントがあるから、予定空けとけよ」と声をかけていただき、その日の講師だったパンサーズの古橋ヘッドコーチを知っていたこともあって、参加しました。皆さんと会話する中で、意外にも新鮮な気持ちになり、懇親会にも残りました。一時間後、次期会長（当時）と呼ばれ、「幹事やらへんか」と口説かれ、その熱意に打たれて引き受けたのが、事の始まりです。

小嶋

初めまして。京都で弁護士をしている小嶋です。関西で発足した有資格校友勉強会組織「楽人会」の幹事です。私も、初めての校友会体験の場は東京で、二〇〇一年の「新人歓迎会」でした。立命館卒の司法修習生仲間と、誘い合って参加しました。そのとき偶然にも、東京にいた友人と会い、その友人の友人たちとも触れ合えて、仕事や人生について、いろいろと刺激を受けました。その次は

▼関東新校友歓迎会



に六月には、立命館大学の校友である会社の大先輩から、東京で行われた関東地区の新人歓迎会に誘われ、

二〇〇三年の秋、立命館高校の野球部の後輩から「京都春風会」に誘われて、二〇〇四年春頃には「楽人会」の立ち上げに関わり、今に至っています。

紫合 東京の紫合と申します。人材派遣のコーディネーターと、レンタルボックスギャラリーの運営

二足の草鞋を履いています。私も東京での新人歓迎会に友人と参加したのが最初です。でもその時はおじさまが多く、若手は若手で仲間内で固まっていた感があった。正直なところそれほど馴染めませんでした。その後、二〇〇〇年だったと思いますが、「2000 OGサークル」の講演会（後に東京校友会の「女性セミナー」に発展）に参加したのが縁で、東京校友会の方と、時々メールをやりとりするようになりました。二〇〇四年、いったん専業主婦になった際に、その方から「女性セミナーのスタッフになったらいい？」と誘われ、そのまま東京校友会の幹事になったと、こういうわけです。

リー APUの校友で、アデコ株式会社で働いているアルビン・リーです。よろしく願います。

入社直後に「Adecco Ris・APU CEO」の新人歓迎会に出席し、次

参加しました。三百名近い、大勢の立命館校友の皆さんとの交流は、これが最初だったのですが、本当に新鮮な気分がして、とても楽しいものでした。いまは東京校友会の幹事会に加わって、首都圏のAPU校友に行事を案内し、参加者を募る仕事をしています。

「出会いは宝物」

— 「宣伝・告知」もさることながら、校友会活動に参加する一番強い動機になるのは、実際に誘ってくれる人の存在なんです。校友会で良い経験をした方々には、ぜひ声かけ役をお願いしたいものです。皆さんは校友会活動の活性化に一役買って下さっているわけですが、校友会のどんなところに魅力を感じて続けていらっしゃるのですか？

角本 何と言っても、世代を超えた交流ができることでしょうね。

海外で日本人に出逢った時と感覚が似ていると言った、同じ立命館出身ということで、年齢や職業は関係なく、すぐに仲良くなれるんです。これがとてもいいと思います。

大西 そうそう。元だけで繋が

るって案外楽しい。何より、年齢の離れた人と話すのは自分のためになる。それに、いろんな人に自分の状況を知ってもらって、なぜか元気が出てくる。京都春風会は「明日からまた元気に仕事頑張ろう！」って、いつも言ってる会な

小嶋 敦

〈'00法〉

高度専門職業人の会「楽人会」ならびに京都校友会若手の会「春風会」で活動。高等学校から立命館。弁護士。高山宏之法律事務所勤務。



KOJIMA Atsushi

小嶋 いろんな人と触れ合うことは、本当に勉強になります。私は様々な人生や会社の行く末に少なからず関わる仕事をしているので特にそう思います。校友会は自己研鑽の場だと考えています。有資格校友勉強会の「楽人会」には現在のところ、弁護士・税理士・不動産鑑定士・司法書士・土地家屋調査士・行政書士・ファイナンシャルプランナーが参加しています。この会をいいなあと思う理由は、勉強会で他の専門職の仕事を知って知的好奇心が満たされることです(笑)。

それから、僕は在學生に校友会の存在意義や楽しさを知らせたいと思っっているんです。在學生は校友会をまったく知らないか、知っ

と、悩みをさらけ出して、お酒で流してしまえること(笑)。真面目な話、少なからず仕事にも役立っていますよ。

柴合 私、たくさんの素敵な方との出会いがあるから続けられます。初参加の時には挫折を経験した私ですが、一度仲間に入ってしまったら、これほど楽しいことはありません。ほぼ毎週、東京のどこかで、立命館の集まりが開かれていますので、気になるものを見つけては顔を出しています。「女性セミナー」の準備をしたり、「リッツトレッキングさーくる」の皆さんと山に登ったり、退職した会社の立命館に呼んでいただいたり、京都を拠点に活躍する校友写真家の北奥耕一郎先生の写真展や写真教室を開催させていただいたり…。校友会活動をしていなければおそらく考えられなかった経験をしています。後輩にも私の経験を伝えて校友会は楽しいとこく自然に思ってもらえる日が早く来ればいいなと思います。

リー 校友会には私が一度もお会いしたことはない皆さんがたくさんいらっしやるので、幅広い人間関係のネットワークを築ける可能性を感じています。それに、人材派遣会社で働いている私にとって、いろいろな方々と交流できることは学びの機会につながり、おかげで私はずいぶん視野を広げることができています。だから参加を続けられるのです。

Special 1
特集 1

新校友歓迎企画 インターネット座談会

「長く楽しむコツ」

規模の大小にかかわらず、さまざまな趣向やスタイルの新しい活動が生まれていけば、校友会全体の裾野が広がっていくのではありません。さて、皆さんの中には何らかの形で新しい活動の旗揚げに係わった方がいらっしやるのではないかと思います。その過程でどんなことを感じましたか。何かを始めてみたいと考えている人へのアドバイスがあれば、それも含めてお願いします。それから、校友会を楽しむコツはどこにあるとお考えですか？

大西 僕は、若手校友有志の仲間と兵庫県校友会の皆さんと一緒に、昨年五月「All-Rits スポーツ観戦交流イベント」という、Jリーグの試合観戦プラス懇親会というイベントをやってみました。先程、在學生に校友会活動を知らせ、つながりを作りたいと言いましたが、それを形にした企画で、百名を超える参加者のうち、六割がAPU学生も含んだ在學生でした。若い人ほど校友会の敷居を高く感じているかもしれないです。



▲All-Ritsスポーツ観戦交流イベント

が、そのせいで一歩を踏み出せないならもったいない。「立命館として「スポーツ」という分かりやすいキーワードのもと一緒に盛り上げようよ！」ということで、立命館というつながりだけで楽しめるという単純なことが、思っていた以上に大切だと改めて気付きました。毎年続けて、校友会活動を盛り立てていきたいと思っています。

「春風会」は、①大学の地元京都・滋賀で頑張っている②四十歳までの③元気な人の会ということ、潜在的な構成メンバーはたくさんいるはずなので、期待しています。新しい方が参加してくれると嬉しいですね。

校友と共に何かを始めたいと思っっている人は、とにかく手を挙げてみましょう。誰かやってくれないかな、ではなくて。

リー まずは、参加する努力を続けて、校友会の雰囲気をつかむこ

角本 紗織

〈'01産社〉

大阪校友会の若手メンバーの中心的存在。東京校友会にもよく参加。(株)パソナを経て、2003年、教育コンサルティング&広告業の(株)SORAを設立。代表取締役。



KAKUMOTO Saori



学び、語らい、励ましあい

校友会を楽しもう

とだと思っんです。ただ出席するだけじゃなくて、周りの人たちと積極的に話しをするのがコツです。その場にはいるけれど、あまりしゃべらないというのは、しんどいですよ。会を主催する側にも、初参加の人をフォローする心配りが求められると思います。

私は会を一から創り上げた経験はないのですが、活動を広げる上での試行錯誤の苦労はわかります。ホームページや広報の告知だけでは、簡単には集まりません。先程から言われていますが、重要なのは「誘う人」の存在。口コミが大事です。会員はみな忙しく、なかなか時間がとれないのが悩みですが、いま漠然と考えているのは、同じ士業を目指している学生を何らかの形で援助することによって、将来スムーズに入会してもらえようにしたということなんです。手探り段階なんですけれど。

角本 私は、自然発生的に立ち上がった「三都クラブ」という有志の会の世話役に、いつの間にかなっていました(笑)。大阪校友会のメンバーの間で何となく始まった食事に名前が付いて、神戸・大阪・京都の三都を回って、食事会やゴルフ、旅行などに行っています。メンバーは、二十代から六十代までと幅広く、とても楽しいのですが、大御所と言われる方も多く、出欠をとって会場を予約して…、という諸々の作業は、ほとんど私がしています。私自身楽しんでるからこそ、やってい

られるんですけれど。

やっぱり、有志が集まってやっている会が楽しいし、続くと思います。例えば大西さんのスポーツ観戦イベントとか、各都道府県校友会の集まりとか、何らかの行事に参加してみても、そこで気の合う仲間を見つけて、その数人が核になって有志の会を始めるのがいいと思いますよ。

柴合 「こでちよつと、「女性セミナー」の話をさせていただきますね。この会は、各界で活躍されている講師をお招きしての勉強会です。講演の後には立食形式の懇談会もあり、講師と直接話すことができる好評なイベントです。リーダーを中心に、各スタッフが分担して、講師への依頼と日程調整、案内文やチラシの作成、参加受付、食事の手配や資料の作成等々の作業をこなしています。準備過程は電子メールで報告しあって、スタッフ全員が共有しています。ボランティアだからこそ、いい会にしたいですし、皆さんに喜んでいただけるのも嬉しいです。



▲女性セミナー

コツは…、形式にとらわれずに継続させることが大事だと思います。例えば誰かが、仮に未定のことであっても、「次は三か月後にやりますよ」と発言することによって、皆の意識の中でその活動が

固まるというか、定例化していく感があります。東京にはいろいろな有志の会がありますが、どのグループにも東京校友会の幹事が誰かしら加わっています。幹事会自体を積極的に楽しんでいる皆さんが中心なので、個々のグループ活動もうまくいき、活動のバリエーション、数ともに増えているんだと思います。

それから東京には「工大放送局」と呼ばれるお二人がいって、メーリングリストを使って立命館関係の情報を送って下さっているのですが、行事予定はもちろん、マスコミに取り上げられた校友の情報や、講演会・個展などの情報、スポーツに至るまで盛りだくさん。気に入ったものをピックアップして参加できる気軽さがいいですよ。

「IT時代の校友会活動」

—電子メールで連絡を取り合いながらイベントの準備をなさるといってお話がありました。これからの校友会活動では、インターネットなどのツールの活用も大切になってきますよね。どんなふうにご利用すれば、より効果的だとお考えですか。

大西 克樹

〈'03経済〉

京都校友会若手の会「春風会」幹事。4回生の1年間、APUにて学ぶ。2004年、スポーツ関連イベント企画等を手がける(有)Japan Sports Innovation設立。代表取締役。



ONISHI Yoshiki

大西 いかにかに社会のIT化が進もうと、インターネット上だけで校友会活動をするというのは無理があるでしょう。ただ、実際に顔を合わせる機会を、いわゆる「オフ会」と位置つけて活動することは可能だと思います。日頃は掲示板やチャット、あるいは最近登場してきたソーシャルネットワークシステムなどを使って、情報や意見の交換、写真やデータの共有といったことをする。そして時々は直接会って話をするという流れを作るのではないのでしょうか。

このような方法は、卒業した後の校友の生活圏が海外の広い範囲に及ぶAPUでは、特に功を奏するのではないかと思います。

リー 立命館大学の校友会は規模が大きいぶん、工夫も必要だと思いますが、少なくとも今のAPU校友会の規模であれば、電子メールよりはチャットボードのほうが使いやすいと思います。

Alvin Lee

『04APUアジア太平洋マネジメント学部』

シンガポール出身。東京
校友会幹事（APU首都
圏校友代表の一人）。（株）
アデコ テクノブレイン
事業部に勤務。



アルビン リー

▼Ritsトレッキングさーくる



大西 ホームページも大切だけれど、情報の一方的な発信で終わらずに、オンラインでイベント参加の申し込みができた、交流掲示板を置いたりして、双方向のやりとりを可能にする努力がいるでしょうね。

柴合 「リッツトレッキングさーくる」のブログなどが良い例だと思います。このブログは、行事の告知・申し込み・開催後の報告の機能をみんな備えています。参加

メンバーの生の声を聞けるので、ホームページで見るよりも親近感が増しますし、楽しそうな写真を見たら、心ひかれますよ。今後はいわゆるコミュニティサ

イトのようなものも、だんだんと作っていきけるといいですね。

* http://blog.goo.ne.jp/yubon_2005/

「発展に向けて」

最後に、校友会の場で今後やってみたいことや、より良い活動に向けてのご意見などがあればお聞かせ下さい。

小嶋 「楽人会」はまだ二十名程度の規模の会ですが、専門職同士の交流による研鑽や人脈形成に加えて、ゆくゆくは、先程触れた現役学生との交流・支援や、無料相談等を含めた社会貢献もやってみることができれば理想的だと思っています。

リー APUの私たちも、校友だけでなく先生も職員も、もっと結集して交流を深めていければいいと思っています。特に日本にいる校友は、日頃は関東・関西といった地域ごとにミニ集会を持ち、年に一度は、多くの校友や教職員が集まりやすい東京で大きな会を開催して、皆がもっている情報を分け合うことができれば、とてもいいですね。

立命館大学校友会の若手の皆さんとも、もっと交流ができればはるかに面白くなると感じています。校友会で出会う皆さんの中には、四十代、五十代の社長さんクラスの方が結構多く、いろいろな教

Special 1 新校友歓迎企画 インターネット座談会

レーションギャップも無いとは言えませんが。

大西 繰り返しますが、これからのキーワードは「若手」からさらに進んで「学生」だと思っています。学生は卒業と同時に校友になるのですから、僕もできることからやっていきますが、例えばキャリア設計関係のフォーラムなど、学生が校友と自然に交流できる仕掛けを増やしていくことが、今後の校

「新校友歓迎会に参加しよう！」

東京・静岡（駿府会）・愛知・京都・大阪の各地で、新校友歓迎会を準備中です。始めの一步に最適です。〔日程等は裏表紙をご覧ください。詳細が決まり次第、随時校友会ホームページ等でお知らせします。〕

「身近な校友会に出かけよう！」

すべての都道府県に校友会があります。在外校友会もあります。総会日程は校友会報や校友会ホームページ等でお知らせします。他に、各職域校友会や学部・ゼミの校友会、サークルのOB・OG会も活動していますので、身近なものから参加してみてください。

「都道府県校友会の活動例」

校友会ごとに特徴があります。詳しくは各校友会にお問い合わせ下さい。

友会の発展につながるのだと思います。

「この春」卒業の新校友の皆さんも、ぜひ身近な校友会の門をたたいてみて下さい。立命館の縁のなかで、一回りも二回りも成長できることでしょ。座談会にご協力下さった皆さん、ありがとうございました。

「都道府県校友会からのメッセージ」

- 親睦はもちろん、それを超えた相互支援や情報交換も可能です。人脈も広がりますよ。
- 立命館校友としての誇り、後輩に対する思いやり、母校への関心が自然に湧いてきます。
- 他県から来られた方でも、すぐ馴染めます。
- 幸せに百年続く校友会を目指しています。
- 初参加者から「校友会がこんなに楽しいとは」との声が上がります。
- 立命館の友の間には、ほのぼのとした人間関係を感じさせる、独特の見えざる糸があります。

立命館大学校友会事務局
<http://www.ritsumei.ac.jp/mg/al/>
TEL 075・465・8120

前田伸一郎

さん(89文)

「火サス」を超えて

「黄金の飛翔」を意味する「エランドール」という名の賞がある。日本映画テレビプロデューサー協会が贈るもので、前田さんは二〇〇五年プロデューサー奨励賞(テレビドラマ部門)を受賞。ダウン症とその合併症により余命一年と宣告された子とその両親が懸命に生きる実話を、ダウン症児を起用して描いた、『たったひとつのたからもの』の実績(視聴率三〇・一%)による。

前田さんは、日本テレビ系列の看板番組であった「火曜サスペンス劇場」や、その後継の「DRAMA COMPLEX」枠で放映する二時間ドラマを長らく手がけてきた。最近の仕事だけをみても、アルコール依存症と闘う若い女性の姿を描いた『溺れる人』や、二週連続の大迫力で魅せた『戦国自衛隊―関ヶ原の戦い』といった話題作をすぐに思い起こすことができる。

前田 サスペンスの殻を破ってリニューアルして、「COMPLEX(複合的)」というからには、いろんなジャンルのドラマに大胆にチャレンジしていきます。これまであまりド

ラマは観なかったという方にも楽しんでいただきたい。プロデューサーとしての真価が問われますが、醍醐味の味わい時だと思っています。

天国から地獄 また這い上がる

「将来を腕一本で生き抜ける技量を身につける」と決めて過ごした学生時代だった。考古学者を志して入学したそうだが、硬軟いずれも受け入れるアンテナの持ち主だった前田さんは、ある日「漫画原作賞募集」の広告を見つけた。それが始まりだった。

前田 鼻が利くほうだったんでしょね。ビジネス的にも、おそらくアニメーションが流行るだろうと感じていたので、人より先にその技を身につけておこうと思って、元手も必要ありませんし。その応募をきっかけに、漫画雑誌の編集部から声がかかり、漫画の原案や粗筋を書くプロットライターのアルバイトを始めました。そうして、脚本というものが持つ奥深さにはまっていました。

四回生の春、大学の就職部で「学生プロデューサー会議」の創りたい番組という日本テレビからの企画募集を目に留めた。早速ドラマの企画書を書き、応募した。

「東京マスコミ就職キャラバン」とでも言うべき活動もした。志を同じくする仲間と共に、関西に留まっていたはだめだと二十数社を回った。友

ドラマづくりは、生きた証を残すこと



人と連れ立っての行動はあまりしなかった前田さんにとって、数少ない機会の一つだった。テレビ局、広告代理店、出版社などに入った仲間たちとは、今でも気軽に電話しあえる仲だという。

日本テレビの企画募集は、実は入社試験であった。三千五百名から選ばれた六十名にプレゼンテーションの機会が与えられた。ドラマ部門で採用されたのが、前田さんだった。

「電波の不動産屋」の「商品」づくり

入社九年目に、晴れてドラマのプロデューサーになった。プロデューサーとは企画を番組の形に仕上げる責任者である。仕事はすこぶる多岐にわたる、それらをすべて把握していなければならない。企画立案に始まり、スポンサーと交渉しての資金集めと予算管理、脚本家や出演者の選定・交渉、脚本の手入れに、撮影や編集の進捗状況のチェック…。多くのスタッフの指揮をとり



んと「ルンルン朝6生情報」という早朝の情報番組の担当で、天国から地獄へ落ちた気分でした。今日取材して、明日放送という毎日。とにかく時間がない中で、「気取った学生気分の原稿だ!」と生原稿を破られ、必死で編集したVTRもコテンパンにたたかれ、それでも仕上げる必要はない。ここでの生き残り合戦で、体力と根性を徹底的に鍛えられました。

次は映画部でアニメのプロデューサーなどをして、マーチャンダイジングや複雑な権利関係の仕組みを身につけることができました。その次はワイドショー「ルックルックこんにちは」のディレクター。神戸の酒鬼薔薇殺人事件など、事件取材でずいぶん修羅場をくぐって、これもドラマづくりには役立っていますよ。大いに。

つつ、複数のドラマ制作を並行して進める。精神的にも時間的にも激務である。そして過酷な視聴率獲得競争は、よく語り草になるところだ。

前田 僕がドラマの企画で重視しているのは、まず「普遍性」です。十年、二十年経っても古びないこと。次に、「人がやっている」ということ。それは扱うジャンルについてだったり、テレビでここまでやるのは初というような、スケールの問題だったりしますけれど、そして三つ目に、「自分のこだわりを表現できるか。魂を込められるか。先の二つの基準をクリアできるものならば、三つ目は、まず大丈夫なんです。」

この基準は、ずっと守っているつもりです。というのは、僕はいわば電波の不動産屋。創るドラマは単なる「作品」じゃなくて、買っていただけ「商品」でなければならぬ。毎週毎週きちんと形にして、世の中の不特定多数の人に向けて送り出さなきゃならないんです。どれだけの人にキャッチしていただけるのか。厳しいですよ。

良い原作、脚本家に俳優、どれも奪い合いのような状況です。まだ実像のないものに対する自分の熱意を相手に伝え、同じ船に乗ってもらうことから始まるので、日頃からコソコソと人間関係を築き、信頼を得るための努力をする。そしてライバルを勝手に想像して、「負けないぞ」と意地をもつ。

そう言えば、業界での人脈以外に、思いがけず立命館の縁が役に立ったこともありましたよ。『たったひとつのたからもの』の映像化権を得た時には、原作版元の文藝春秋に「マスコミキャラバン」での友人が一役買ってくれて、『溺れる人』の脚本を井上由美

Shinichiro Maeda



前田伸一郎さん

- 1967年 愛知県に生まれる。
- 1985年 立命館大学文学部史学科(東洋史学専攻)入学。在学中に、漫画やアニメーションのシナリオ作法を身につける。ドラマの企画も温め始める。
- 1989年 大学卒業。日本テレビ放送網入社。社会情報局「ルンルン朝6生情報」アシスタントディレクターに。
- 1991年 編成局映画部へ。主にアニメーションを担当。
- 1996年 「ルックルックこんにちは」ディレクター。
- 1997年 編成局ドラマ制作部プロデューサー就任。この後8年間で、「火曜サスペンス劇場」計134本を制作。『小京都ミステリー』『箱根湯河原温泉交番』『京都金沢殺人事件』『弁護士高林鮎子』各シリーズ等が代表作。特別番組としては、火曜サスペンス劇場1000回突破記念作品『松本清張スペシャル 鬼畜』(2002年)、日本テレビ開局50周年記念作品『松本清張スペシャル 黒の回廊』(2004年)、文化庁芸術祭参加作品『たったひとつのたからもの』(2004年)、ウーマンズ・ビートドラマスペシャル『溺れる人』(2005年)等。
- 2005年 2月、エランドール・プロデューサー奨励賞(テレビドラマ部門)受賞。10月、番組改編で「DRAMA COMPLEX」担当プロデューサーに。『戦国自衛隊―関ヶ原の戦い』『松本清張スペシャル 指』等を手がけ、現在に至る。

日本テレビDRAMA COMPLEX URL:
<http://www.ntv.co.jp/d-complex/>

子さんをお願いした時には、僕は初めて、先輩後輩ということを通じてしましたね。

『戦国自衛隊―関ヶ原の戦い』第二部放映の四日前、前田さんは編集作業に動んでいた。低空飛行のヘリコプターと、あまたの赤い幟が、ディスプレイに、ダイナミックに映っている。

前田 今も時間を眺めながらなんです、学生時代から、できる時に最大限の力を出すことを心がけてここまで来ました。できる時というのは、いつまでもそのことに取り組める自分であるかどうかはわからないという意味です。異動になるかもしれない。もっと極端な話、明日死ぬかもしれないんだから、先送りにはできません。

それに、似たような企画を温めている同業者が、きつというでしょう。ならば自分はそれよりも早く、その企画を形にしなければ世に出すからには人が真似できないものを創りあげなくては、と、こんな思いがいつもあります。一日二十四時間は、誰に対しても残

酷なほど平等に与えられているんですよ。限られた時間を、いかに密度の濃いものにできるか。それが勝負の分かれ目でしょうね。

ドラマは不滅 ドラマ人も不滅

前田 いつでも、本場のプロの仕事しよう、と肝に銘じています。それは、例えるなら、彫刻の一本彫りのようなイメージです。一本の木、つまり集めた情報や素材を削ぎ落としながら、然るべき形に削り上げていく。足りなければ後から付け足せばいいなど、思っただけなんです。それからこの分野では自分のやり方を自ら見つけ出し、やり通せる人間にしか、プロの仕事はできない。教えられる、養成されるといったことからは遠い世界です。

とにかく今は、自分の名刺代わりになる良いドラマ、成功作を生み出せるように努力を続ける。それだけです。僕自身が「自分が創ったと満足するだけではなく、関係者の

誰もが「これは前田が仕掛けた」と認めてくれるような仕事を。

テレビの世界は、番組の内容・配信の方法なども含めて、どんどん多様化、変容していくでしょう。しかし、ドラマが消えてなくなることはない。ドラマを創る人間はいつの時代でも必要です。学生時代の志を忘れず、制作現場で、もっとも腕を磨いていきたいと思っています。

ドラマよりもショッキングな現実が渦巻く現代にあって、人間を、社会をいかに感じ取り、どんな視点から描いてくれるのか。前田さんの「黄金の飛翔」に期待したい。

前田 確かに難しい時代ですがだからこそ皆さんが求めるものを一歩先んじてキャッチして、お送りします。『戦国自衛隊』の、嶋村(注・関ヶ原の戦い直前の琵琶湖畔ヘタムスリッブした陸尉、西軍の指揮権を奪い、天下取りを目指した)の台詞に、「この時代で生きた証を残す」というのがありました、ここには僕の思いを込めたつもりです。やりますよ。

恩師の窓

恩師の近況や人となり、思い出を、教え子が紹介します。



山口 定
名誉教授(政策科学部)

- やまぐち やすし
- 1958年～1971年、1993年～現在
- 政策研究・政治学

先生からの一言

自助・共助・公助がこれからの福祉国家の理念だと思います。自己責任と、仲間・近隣の連帯による支援。そして国家と自治体によるセーフティ・ネットの構築の三拍子が揃わないと駄目ということです。

「ちょうび大鐘のごとし。小さく叩けば小さく鳴り。大きく叩けば大きく鳴る。」西郷隆盛の人物を評する際に引用される言葉であるが、鹿児島出身の山口先生もまさにその一言に尽きるのではないだろうか。

こちらから、小さい問いかけやアクションを起こせば小さくしか反応しない。でも、大きく叩けば、それ以上に大きく反応する。私たちがこういった研究がしたい。こんな活動がしたいとそれぞれ個性がぶつかる。その中で先生の豊富な知識の中から様々な指導を賜ったことが今でも心に残っています。

そんな二年間のゼミを通して学んだこと。一言でいうと私は共生のデモクラシーであったと思う。それぞれの価値観を尊重し、それぞれの価値観が望む夢を共に実現していく社会。その為には、自分を大切にすることに合わせて相手の価値観を尊重し共に生きる。私が飛び級の試験に合格し三回生から大学院進学を決断した時も、またそれを辞退し銀行に就職すると決断した時も先生の答えはいつも「自分の価値観を尊重しなさい」であった。

大学を卒業し社会の荒波に揉まれてもうすぐ五年目。相手企業や顧客、また職場内においてもパートの職員や一般職の女性上司や本部……。それぞれが求める価値観は、まさに多種多様。お互いWIN-WINの関係を築き、様々な人と共に成長する。言葉で言うのは簡単であるが実現するのは本当に難しい。そうだがもう一度先生の知識の扉を叩いてみよう。

教え子

日野智志

(02 政経 記)

三井住友銀行勤務



朝日(関下) 総
教授(国際関係学部)

- あさひ(せきした)みのる
- 1981年～現在
- 現代世界経済論

先生からの一言

2007年3月に定年を迎えることになりました。日本国際経済学会会長の任期も後1年です。感慨深いものもありますが、さらに前進していきたいと考えています。

普段は気難しそうな先生が時折見せてくださるお茶目な所は朝日ゼミの学生なら誰もが愛してやまない先生の一面でしょう。先生は、授業に関するだけでなく、中国旅行やビール作りの体験談などの様々な話をして下さり、「今日はどんな話が聞かせてもらえるのだろう」といつもゼミを楽しみにしていました。また、就活中のゼミ生のことを常に気遣われる姿を見て朝日ゼミに在籍することを心の底から嬉しく思ったものです。

朝日ゼミで過ごした二年間は、私のキャリア選択に非常に大きな影響を与えてくれました。二年半の留学を終えて帰国した当初、私が考えていたのは、国内外の大学院への進学または国際機関への就職。留学先で学んだ国際経済学をさらに深く掘り下げるのが目的でした。しかし、ゼミで進めた「会社法」の研究と、ゼミナル大会に向けて取り組んだ「国際競争力」についての考察を通して、激動するグローバル経済の中で変わりゆく日本企業に興味を持つようになり、日本企業への就職を目指すことにしました。

昨年末に参加させていただいた朝日ゼミの忘年会で久しぶりに先生にお会いし、近況を報告させていただくと、非常に温かい言葉を頂戴し、朝日先生に教えを受けたことを改めて嬉しく思いました。朝日先生は間もなく退任を迎えられます。歴代のゼミ生を集めて先生を囲む会を現役ゼミ生が企画中和聞いていますので、楽しみにしています。

教え子

和田大輔

(04 国歴 記)





エイジング

多様化する「年をとる」ことへの認識

高橋 正人

立命館大学 産業社会学部教授

エイジングという言葉の意味について
お聞かせください

Q

A
エイジング (ageing, aging) は「年をとること (加齢、老化)」という意味です。年をと

ることは、細胞分裂によって個体生命を存続させない、われわれ人間をはじめとした有性生殖をする生き物に必然的に生じる現象です。しかし、エイジングという語は単に生き物だけでなく他のものにも使われます。たとえば機械などにも耐用年数などがある、エイジングの考え方がとられたりします。それから日本は周知のごとく高齢化社会、高齢社会です。これも社会がエイジングするという発想からの言葉です。

エイジングに対する日本人の価値観について
教えてください

Q

A
かつて日本は儒教思想を背景にした敬老の国であると、他の先進国から指摘されることもありましたが、二十世紀の中頃からの社会変化の中でエイジングについての価値観は大きく変化してきたと思います。これまでの研究では小学生の高学年か、中学生あたりからエイジングに対してのネガティブな

意識転換が認められています。個人の能力重視とそれにもなう競争意識などが作用していると分析されていますが、まさにわれわれの社会の中心的な価値観を形成する段階において、否定的なエイジング観も同時に形成されていくと考えられます。否定的なエイジング観はすべての世代に共通にみられる傾向で、高齢者自身にも否定的な見方が強くみられます。

望ましい老年期を迎えるための
取り組みや考え方について
教えてください

Q

A
今、間違ったエイジング観を打破しようという世界保健機構 (WHO) から始まった運動が広がっています。厚生労働省も「新しい高齢者像を求めて」というテーマをかかげて、ネガティブなエイジング観を払拭しようとしています。それは年をとることをあまりにも否定的にとらえる傾向があるからで、年をとったらまったく働けなくなる

とか、みんなが認知症になるとか、そういった事実に対する認識をあらためるのは意義のあることです。「老い」に関する事実をひとつだけ紹介します。人間の能力のうち言語を用いるすべての能力を「言語性能力」と呼びます。近年の研究成果からこの「言語性能力」は大体六十歳すぎまで衰えないということがわかってきました。読む、書く、話す、聞く、つまりこれら「考

キーワードから見る

現代



エイジング

多様化する
「年をとる」ことへの認識

超高齢化社会に突入する日本。

医療費の膨張、労働力の低下など、「エイジング(年をとること)」は社会や経済においてネガティブな影響が強い。

しかしその一方で、望ましい老年期や第2の人生、そして人生の終末を送るために、

「エイジング」に対する認識を肯定的に変えて行くための取り組みや研究も進められている。

急速な人口構造の変化のなか、「エイジング」に対する価値観のあり方について、

社会老年学が専門である産業社会学部の高橋正人教授にお話をうかがった。

A

人間のライフサイクル過程において、老年期ほどいろいろな面で個人差が大きい時期は

今後エイジングに対する価値観はどのようにかわっていくでしょうか

Q

える能力」は大きな障害や病気などによって阻害されなければ、加齢とともに衰えずに発達を続けます。蓄積された経験がここでは大きな意味をもつことになっていきます。年をとるとすべてが衰えるというのは事実にはまったく反しています。

ただ、高齢者がいつまでも働き続けられるとか、いつまでも元気だとか、反対方向に行き過ぎる傾向も一部に認められるところ。望ましい老年期を実現するには、ネガティブにもポジティブにも過ぎず、事実認識をもとにした取り組みが必要です。

実は高齢者は自分の「若い」をあまり語りません。とくに日本の高齢者は、自分たちの立場で主張をしたり、「若い」にかかわるさまざまなことを言葉にしない傾向があります。他の先進国ではアクティブな高齢者の政治団体や利益団体がありますが、わが国ではそれほど活発ではありません。エイジングにかかわる私たちの取り組みは、まず高齢者の方たちから「若い」の事実を正しく聞いてとらえ、高齢者の立場でものを見て、考えるところから出発しなければならぬと思います。

ありません。「若い」には実に多くの現れ方がありますので、エイジングを狭い視野でとらえるべきではありません。柔軟なとらえ方をする必要があります。エイジングの最大の特徴のひとつは「多様」です。望ましい方向に変化すると考えれば、エイジングに対する価値観は多様化すると思います。一人ひとりが個性的に年をとることによって、私にはいいと思います。老年研究をとおし、私は年をとることによって失われるものと同じか、またはそれ以上のものをエイジングの過程において獲得することが可能であると、決して誇張ではない真実として考えています。



Profile
たかはし まさと

立命館大学産業社会学部 教授

【専門分野】
社会老年学・社会福祉

■ 主な著書・論文

- 「老いの心理・社会学的学説」(単著、2000年、高齢者の「こころ」事典)
- 「京都市高齢社会対策実態調査報告書」(2001年、京都市)
- 新・人間の危機と再生・『「若い」の変貌と再生」(共著、2001年、法律文化社)

方丈記と私

松山義信 (61文)

「行く川の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて久しくとどまりたる例(ためし)なし。世の中にある人と栖と、またかくのごとし」これはかの有名な「方丈記」の書き出しである。名調子でしかも格調高いこの一文に接したのは忘れもしない高一の古典の時間であった。こんなにすばらしい文章があるのか、これが古典と言うものなのかと感心したのだった。それ以来、いつも心の片隅にそのときの記憶があった。もう十数年前にもなるうか、新聞紙上に鴨長明の庵跡を伝える記事を目にした。

早速訪ねることにした。福知山から京都(山陰總)までの間に方丈記を一読した。時は秋で、あたかも「零余子」(ぬか子)の季節、日野の里では稲刈りの最中であった。JR六地蔵で下車し、随分と歩いた。尋ね尋ね近くまで来ると、「是より約千四」の道標があり、それに従い山中へ入って行く。途中で二股になり、右手は谷で、その谷沿いに真直ぐにしばらく進むと、「鴨長明方丈石」に至った。「外山

の庵

にして、

これをしる

す」とある。凡

そ八百年前のこの地は、

今でこそ今様の新建築が散見できるが、その当時は相当山深かったに違いない。「ふもとに一つの柴の庵あり。すなわちこのやまもりが居る所なり」で、当時の山深さがよくわかる。

「ここに六十(むそぢ)の露消えがたにおよびて」書いた無常観あふれるこの随筆は歳をとるにつれ、心にしみるのを感じる。私は六十をとづくに過ぎた。思うに、時と所が変われど、周りを見れば、今も昔も「久しくとどまりたる例なし」である。こと嵩じて三年前、玄関の敷石脇にその名文を石に刻み据えた。また長年、英語に親しんで来たので、漱石が文化大学時代(明治二十四年)に恩師のDixonの依頼により英訳したと言われる英文もついでにと据えた。玄関を入りする度に長明の思いを自分に重ね合わせ人生の訓えとしている。

ここに方丈記の冒頭だけだが、その英訳を参考までに紹介する。他にも英訳はあるが、やはりこれ



が一番長

明の心をよ

く伝えている。

Incessant is the

change of water where the stream

glides on calmly; the spray appears over

a cataract, yet vanishes without a

moment's delay.

Such is the fate of men in the world

and of the houses in which they live.

後輩だけど

大先輩との「出会い」

小内章子 (01経歴)

大学時代に恵まれていたもの、それはなんとと言っても「出会い」である。

日本全国にとどまらず、世界中から集まる沢山の先生と学生。自分の行動次第で様々な世界が開ける。立命館大学のキャンパスは、自由で可能性にあふれた空間だったと思う。

沢山の出会いの中で、「もつとも尊敬する女性」に出会えたのは本当に幸運だ。

彼女は、たまに私のことを「先輩」と呼んだりする。そうすると、私はすぐそこそばゆい気持ちになっってしまうのだ。

なぜなら、彼女は社会人学生として学んでいた。後輩といえども、結婚・子育て・仕事、全てを経験している彼女は、私にとって人生の「大先輩」なのだ。

卒業した今も交流はあり、たまにお会いする。ますます波に乗るお仕事の話は刺激的で、毎日とても忙しくしていらっしやるようだ。在学中は、仕事と勉強の両立を笑顔でやってのけられた。私も社会人になった今、その行動力の素晴らしさを改めて実感することができ、ますます尊敬している。あの忙しい彼女が、どうやって四年間の時間とエネルギーを管理していたのか、今度お会いするときには秘訣を聞いてみようと考えている。

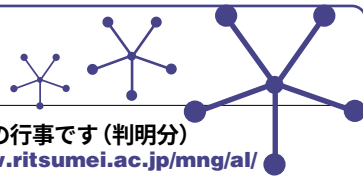
「いつか、私もあんな風に……と憧れる大先輩との出会いは、大学時代の宝物。若い学生と、社会経験豊かな学生が机を並べる。「後輩だけ」が大先輩、こんな出会いがあるのも立命館大学ならではの、人生を豊かにしてくれる出会いを演出してくれたキャンパスに感謝している。

自由席原稿募集

「自由席」は、本誌春・夏・秋号に掲載の予定です。校友会編集係まで原稿をお寄せ下さい。

郵便・ファックス・電子メールのいずれでお送り下さっても結構です。送り先アドレス等は裏表紙をご覧ください。

校友会ネットワーク



昨年12月中旬～本年3月上旬に行われた各団体の行事です(判明分)

*詳しくは校友会ホームページをご覧ください <http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/al/>

都道府県校友会ほか

- 12/17 栃木県校友会総会 (30名・宇都宮東武ホテルグランデ)
- 1/21 大分県校友会総会 (70名・つるみ荘)
- 1/22 島根県校友会総会
(30名・サンラポーむらくも)
- 1/28 北海道校友会総会
(65名・札幌パークホテル)
- 2/24 山口地区校友会総会
(70名・翠山荘)



島根県校友会総会

地域校友会

- 12/16 ニューヨーク校友会忘年会 (11名・浪花レストラン)
- 1/14 京都春風会新年会 (27名・HUB四条烏丸店)



ニューヨーク校友会忘年会



京都春風会新年会

- 1/14 北京校友会総会 (14名・北京航空航天大学如心会議センター)
- 1/21 静岡県校友会浜松会新年会
(48名・ホテルコンコルド浜松)
- 1/28 愛媛県校友会松山支部総会
(60名・松山全日空ホテル)
- 2/4 姫路立命会総会
(58名・まねき食品株式会社
3Fホール)
- 2/4 立命館湘南クラブ総会
(30名・ホテル好養)
- 2/18 愛媛県校友会宇摩支部
硬式野球部激励会
(150名・グランフォーレ石松)
- 2/23 英国校友会「長田総長を囲む会」
(20名・Soho Japan)
- 3/4 愛知県東三河支部総会
(100名・豊橋グランドホテル)



北京校友会総会



愛媛県校友会松山支部総会



英国校友会「長田総長を囲む会」

職域校友会

- 2/17 姫路市役所衣笠会臨時総会 (40名・姫路キャッスルホテル)
- 2/25 北朋会総会 (30名・ホテル新札幌シェラトン)
- 2/28 石川県庁立命会総会 (40名・金沢都ホテル)

学部・学科校友会

- 1/20 建設会三重県支部総会
(50名・長島温泉「ガーデンホテルオリーブ」)
- 1/28 建立会総会
(150名・ヴィアーレ大阪)
- 2/18 松村勝弘先生を囲む会
(90名・キャンパスプラザ京都)



建立会総会

サークルOB・OG会

- 1/14 関東読茶会(茶道研究部OB・OG会)新年会
(12名・虎ノ門パストラル)
- 1/21 ホッケー部全日本学生男女
優勝記念祝賀会
(80名・京都パークホテル)
- 2/11 ゴルフ部40周年記念パーティー
(180名・リーガロイヤルホテル京都)
- 2/11 準硬式野球部OB会総会 (28名・末川記念会館)
- 2/25 経済科学研究会同窓会総会 (100名・以学館1号ホール)
- 2/25 都市問題研究会OB・OG会総会 (20名・末川記念会館)
- 2/26 陸上競技部OB・OG会総会・懇親会 (70名・京都タワーホテル)
- 2/26 写真研究会OB会総会 (25名・レストラン「菊水」)



関東読茶会(茶道研究部OB・OG会)新年会

その他の会

- 1/14 95産社・人文コースMクラス同窓会
(25名・レストラン「カルム」)
- 1/22 1997年法学部社会人入学生
第2回同窓会
(21名・ホテルグランヴィア大阪)
- 3/4 S54L2H OB会
(20名・花園会館)



1997年法学部社会人入学生第2回同窓会

鳥取県西部校友会	秦 伊知郎	683-0037	米子市昭和町25-1 サンイン技術コンサルタント(株) 大野木 昭夫 様 気付	0859-32-3308
島根県校友会	坂根 勝	690-0883	松江市北田町22-3-56 日野 雅之 様方	0852-31-5225
岡山県校友会	龍門 功	700-0902	岡山市錦町3-101 (有)天水 守屋 博司 様 気付	086-233-5101
広島県校友会	伊藤 利彦	730-0835	広島市中区江波南1-39-4-201 市村 章 様方	082-294-8446
広島県東部校友会	後藤 克公	729-3102	福山市新市町相方470 加富屋(株) 後藤 克公 様 気付	0847-52-3555
山口県校友会	東 章	758-0011	萩市椿東2550-1 吉富 晋吾 様方	0838-22-8623
宇部小野田校友会	河野 積善	755-8601	宇部市常盤町1-7-1 宇部市教育委員会 森島 正信 様 気付	0836-34-8613
徳島県校友会	宮崎 房子	771-1612	阿波市岡1658 坂東 照伸 様方	0883-36-4009
香川県校友会	村上 良一	761-0104	高松市高松町258-15 田村 晴彦 様方	087-843-7275
愛媛県校友会	渡部 英夫	790-0931	松山市西石井2-2-13 岡本 正志 様方	089-956-6517
高知県校友会	会長死去につき協議中	789-1203	高岡郡佐川町丙3081-1 西山 陽典 様方	0889-22-2824
福岡県校友会	清家 邦敏	816-0092	福岡市博多区東那珂3-6-62 大成印刷(株) 清家 邦敏 様 気付	092-472-2621
北九州校友会	高藤 昌和	804-0025	北九州市戸畑区福柳木2-3-11 初村 雅敬 様方	093-882-9240
佐賀県校友会	中島 欣一	840-8501	佐賀市栄町1-1 佐賀市 市民生活課 横尾 徹 様 気付	0952-40-7080
長崎県校友会	一瀬 一徳	850-0056	長崎市恵美須町4-2 平野ビル (株)長崎ガードシステム 山口 孝司 様 気付	095-825-3795
熊本県校友会	吉良 禎人	860-0017	熊本市練兵町1 (財)地域流通経済研究所 飯田 俊之 様 気付	096-322-2566
大分県校友会	松岡征一郎	870-0128	大分市森108-83 佐藤 昌彦 様方	097-521-5392
宮崎県校友会	道休 邦博	880-0022	宮崎市大橋1-199 南 英輝 様方	0985-25-9884
鹿児島県校友会	福元 寅典	890-0054	鹿児島市荒田1-62-8 ミヤタビル (有)宮田光二商店 西元 泰光 様 気付	099-253-1211
沖縄県校友会	古波倉正松	903-0825	那覇市首里山川町1-69 山城 孝智 様方	098-887-1024

●学部校友会

衣笠キャンパス 603-8577 京都市北区等持院北町56-1			
校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号
立命館大学法学部同窓会	羽賀 孝	法学部事務局	075-465-8175
立命館大学産業社会学部リユニオン	都鳥 正喜	産業社会学部事務局	075-465-8184
立命館大学国際関係学部校友会	林 夏音	国際関係学部事務局	075-465-1211
立命館大学政策科学部同窓会	新井 弘徳	政策科学部事務局	075-465-8166

びわこ・くさつキャンパス 525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1			
校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号
立命館大学経済学部同窓会	高橋宗治郎	教務センター経済学部	077-561-3940
立命館大学経営学部校友会	稲岡 典彦	教務センター経営学部	077-561-3941
立命館大学理工学部同窓会連絡協議会	田村弘三郎	教務センター理工学部	077-561-2625

●海外支部

立命館大学校友会北カリフォルニア支部	立命館大学校友会バンクーバー支部	立命館大学タイ国校友会	立命館大学香港校友会
立命館大学ロスアンジェルス校友会	立命館大学英国校友会	立命館大学シンガポール校友会	立命館大学北京校友会
立命館テキサス会	立命館大学インドネシア校友会	在韓立命館大学同門会	立命館上海校友会
立命館大学校友会シカゴ会		立命館大学校友会台湾支部	

Overseas branch

都道府県校友会・学部校友会 連絡先一覧

都道府県校友会

P r e f e c t u r e

校友会名	会長名	事務局	連絡先電話番号
北海道校友会	広長 明夫	006-0805 札幌市手稲区新発寒5条1-1100-43 中川 均 様方	011-667-1150
東北道校友会	合田 賢二	080-0805 帯広市東五条南10-11 合田 賢二 様方	0155-23-6453
青森県校友会	福嶋 正雄	038-0012 青森市柳川1-2-97 アルデール柳川713 對馬 修治 様方	0177-82-8965
岩手県校友会	多田 和生	020-0015 盛岡市本町通1-8-22-907 大橋 謙一 様方	019-623-6575
宮城県校友会	下村 泰雄	981-8007 仙台市泉区虹の丘1-10-3-615 百崎 馨 様方	022-371-5218
秋田県校友会	兜森 勲夫	010-0041 秋田市広面字糠塚110-1 ジェネラス広面306 兜森 勲夫 様方	018-834-6871
山形県校友会	奥山 正明	991-0032 寒河江市南町2-3-13 奥山 正明 様方	0237-86-5215
福島県校友会	富田 良夫	970-8026 いわき市平字六間門15 三村 智春 様方	0246-24-1386
茨城県校友会	木村 幸夫	310-0903 水戸市堀町2247-8 木村 幸夫 様方	029-252-8401
栃木県校友会	高野 雅文	321-0912 宇都宮市石井町2860-2 小林 睦男 様方	028-661-6606
群馬県校友会	石橋 博	370-3521 高崎市棟高町1802-409 石橋 博様方	027-372-8422
埼玉県校友会	西垣 義明	343-0023 越谷市東越谷9-53 越谷司法ビル 西垣 義明 様方	048-963-2108
千葉県校友会	山本 良夫	273-0005 船橋市本町7-17-25-502 山本 良夫 様方	047-422-3270
東京校友会	住野 公一	103-0028 中央区八重洲1-3-19 辰沼建物ビル8階 立命館東京オフィス 気付	03-5204-8611
神奈川県校友会	田中 健明	226-0006 横浜市緑区白山4-23-19 長谷川 貞栄 様方	045-933-4662
新潟県校友会	大西 淳	951-8006 新潟市附船町1-4098-8 五十嵐 忠明 様方	025-224-4829
富山県校友会	坪井新一郎	930-0004 富山市桜橋通り2-28 (株)名鉄トヤマホテル 吉野 久幸 様 気付	076-431-2201
石川県校友会	加納 裕	920-0211 金沢市湊2-21 加賀木材(株) 木場密雄様気付	076-238-4131
福井県校友会	永多 外男	919-0326 福井市半田町6-14-3 澤田 謙三 様方	0776-38-2000
山梨県校友会	野口 忠蔵	400-8501 甲府市丸の内1-6-1 山梨県教育委員会 社会教育課 小幡 尚弘 様 気付	055-223-1770
長野県校友会	桑原 政見	390-0805 松本市清水1-6-18 猿田 誠 様方	0263-36-3455
岐阜県校友会	小川 弘	500-8323 岐阜市鹿島町6-27 (株)市川工務店 営業部 折戸 優兒 様 気付	058-251-2240
静岡県校友会	大石 育三	416-0946 富士市五貫島639-2 大石 育三 様方	0545-63-8984
愛知県校友会	林 幸雄	461-0004 名古屋市中区葵3-15-31 住友生命千種ニュータワービル14F (株)電広エイジェンシー 加藤 智大 様 気付	052-937-1250 (FAXのみ)
三重県校友会	市川 武彦	514-0043 津市南新町16-39 近沢 日出夫 様方	059-228-5778
滋賀県校友会	高橋宗治郎	520-8686 大津市浜町1-38 (株)滋賀銀行 営業統轄部 徳田 克彦 様 気付	077-521-2054
京都校友会	布垣 豊	603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学校友会内	075-465-8120
大阪校友会	村上 健治	541-0041 大阪市中央区北浜3-1-18 島ビル6F 立命館大阪オフィス 気付	06-6201-3610
兵庫県校友会	大庫 典雄	661-8520 尼崎市南塚口町7-29-1 園田学園女子大学就職部 寺田 豊 様 気付	06-6429-9906
奈良県校友会	渡邊 申孝	634-0008 橿原市十市町834-5 ダイワ写真(株) 阪田光彦様気付	0744-25-8204
和歌山県校友会	浦 哲志	640-8303 和歌山市鳴神248-51 山田 啓二郎 様方	0734-71-4911
鳥取県東部校友会	本多 達郎	680-0843 鳥取市南吉方2-58 (株)アド・ネットワーク 西垣 佳則 様 気付	0857-29-8211

立命館孔子学院

特集2
Special
2

日中友好の架け橋として

CONFUCIUS INSTITUTE AT RITSUMEIKAN



立命館孔子学院学院長 周 璋生

孔子学院とは、中国政府が中国語や中国文化の普及のために、世界各国に設置を進めている教育機関です。

立命館学園は中国政府と協定を結び、二〇〇五年一〇月、国内初の孔子学院「立命館孔子学院」を、衣笠キャンパスの「アカデミア立命21」内に開設しました。設置の趣旨や事業構想などを、以下でお知らせします。

日本最初の孔子学院

中国政府は、世界に向けて中国語や中国言語文化を普及し、世界各国と中国との理解と友好、世界平和と発展を促進することを目指して、二〇〇四年度から海外で現地の大学等と協力して「孔子学院」を設置し、各国において積極的に中国語教育を推進するために、資源の提供や支援を行うことを発表しました。

立命館学園は、これまでの中国との様々な取り組みをさらに前進させるため、二〇〇五年六月二十八日に中国政府と合作協定書を締結し、日本における最初の孔子学院として、十月に「立命館孔子学院」を設置しました。



合作協定書調印式

なお、「孔子」を名前に配しているのは、世界的に認知されており、わかりやすく教育

文化施設の「統一ブランド」として相応しいということのようです。

立命館学園と中国との関わり

本学は「平和と民主主義」の理念に基づいて、戦後間もないころから中国との交流に取り組んできました。現在、立命館大学とAPUで約八百名の中国人留学生在が学び、協力協定を締結している中国の大学は四十に上ります。また二〇〇四年からスタートした「中国の大学管理運営幹部特別研修」は五十五の大学及び各省の教育省・財政などの省庁から二百一十三名が受講するまでにいたっており、中国政府や日本政府から非常に高い評価を受けて



アカデミア立命21

います。立命館学園と中国の協力関係は、一歩一歩確実に前進しており、立命館孔子学院開設は、これまでの学園の取り組みの結実の一つであると言えるでしょう。

また、国際平和ミュージアムが設置されている建物（アカデミア立命21）の二階に専用施設を設置していることが象徴するように、日中の平和的な文化交流を進めるための拠点にしたいと考えております。

さらに、立命館学園にとって孔子学院の設置は、「アジア太平洋地域のハブ大学」という国際化の目標において、教育・研



立命館孔子学院

日中友好の架け橋として

究・国際交流の重要な交流拠点を築いたこととなります。

世界の中国語学習熱の高まり

現在、世界的に中国語学習熱が高まっています。これは急速な中国経済の発展による人の流動化が背景にあります。中国政府は「国際的な中国語教育制度の開発・整備の必要性を強く感じており、ドイツの「ゲート学院」のように現在世界各地に孔子学院を百校設置することを目指してプロジェクトを推進しています。そして、海外における中国語学習者は、現在約二千五百万人とも三千万人とも言われており、それを一億人にする計画を持っているということです。日本でも現在二百万人余りが中国語を学習していると言われています。日中関係をめぐる様々な意見がありますが、中国に強い関心を持ち工場や店舗等の進出も含めて中国と強い関係を持っている企業においては、中国語や中国事情に関する取り組みの必要性は高いようです。

また、二〇〇八年には北京でオリンピックが開催され、二〇一〇年には上海で万国博覧会が開催されるということで、今後ますます中国や中国語への関心が高まってくる予想されます。

立命館孔子学院の「二つの使命」

立命館孔子学院には、大きく二つの使命があります。

一つ目は「日本においての中国語教育の

先端的地位を築くこと」です。

孔子学院では、中国語教師を育成する教育制度の整備を行いたいと考えています。中国政府や北京大学と共同して、中国語教師の育成制度や教材・カリキュラムの開発をする計画です。その取り組みの中で、中国政府認定の教師資格を提供できるような権限や、中国政府が唯一認定する中国語能力認定試験「漢語水平考試（HSK）」を運営する権利を積極的に獲得していきたいと思っています。今、民間レベルで中国語講座が数多く展開されていますが、私たちは彼らと競争するのではなく、教育システム自体を開発し提供していく先端的な役割を担っていくことを目指しています。

二つ目は「日本と中国の交流の中心的な窓口となること」です。

日中両国は相互理解を促進するための努力が今以上に必要だと感じています。例えば、戦後の日本経済発展の歴史を中国に紹介する資料はそれほど多くありません。また中国に関する日本の報道も外交に偏ったものが多いように感じます。立命館孔子学院では、既に教職員や学生を対象にした中国文化を知るための講座を開いています。が、今後は一般の社会人にも広げていきます。また、学生やビジネスマンの中国に対する意識が高まってきている中で、立命館が持つ中国全土にわたる大学とのネットワークや中央政府とのコネクションを活かし、ビジネスマンや学生への留学プログラムの実施や情報提供の機能も担っていきます。

現在中国の様々な大学から交流のオファーを受けていますが、こ



AVライブラリー（図書室）

いった情報をこれから整理し、発信していくことで、「中国に関することなら立命館孔子学院へ」というイメージの定着を目指します。昨年十月には三千五百に及ぶ書籍やDVD等が中国政府から寄贈されましたが、それらをさらに充実させながら、AVライブラリー（図書室）を一般の方々に利用していただきます。利用登録さえいただければどなたでも利用できますので、校友の方々も大歓迎です。

具体的な事業構想の紹介

立命館孔子学院では、様々な事業を行います。以下に主な構想を紹介いたします。基本的に一般社会人に開放しておりますので、ホームページ等をご覧頂き、積極的に参加いただければ幸いです。各プログラムは詳細が確定次第、要項をホームページ等で随時紹介していくことになります。

1 中国語の各種教育・研修

◆受けてみよう「漢語水平考試（HSK）」（中国政府公認の中国語検定試験）

◆「漢語水平考試（HSK）」受験対策講座（上級、中級）

◆中国語検定対策講座（上級、中級）

◆はじめての中国語講座

◆シリーズ現代中国文化講座Ⅱ「立命館孔子学院講座」

◆行ってみよう中国圏・トラベル中国語会話

◆異文化体験を生かす中国語講座

◆中国語教育テキストの開発

◆キッズ・チャイニーズ（小学生と親が共に楽しく中国語を学べる講座）

◆以上の各講座等のカリキュラム開発

◆その他（ニーズ調査の上、ビジネス中国語講座、華僑・華人の方向け中国語講座など）

◆ 成績優秀者への中国政府奨学金による留学

2 中国語講師の養成

◆ 漢語講師養成プログラムの開発
◆ 漢語講師養成講座

3 中国への留学等を 希望する方への支援

◆ 旅行会社とタイアップしたトラベル中国語会話
◆ プチ留学体験ツアー
◆ 短期留学
◆ 留学相談
◆ その他（ニーズ調査の上、中国文化交流ツアーなど）

4 中国語能力試験の実施

◆ 「漢語水平考試（HSK）」の実施・運営

5 日中文化交流のための企画の実施

◆ 中国語スピーチコンテスト
◆ AVライブラリー（図書室）の公開
◆ 中国最新情報の発信
◆ 各種文化交流訪問団の派遣
◆ 機関紙誌またはMail Newsの発行
◆ 春節大茶会
◆ 中国映画・テレビ鑑賞会
◆ その他



立命館孔子学院の ブランド確立を目指して

昨年十一月十七日には中国の駐日本国特命全権大使である王毅氏をお招きして講演

立命館孔子学院

特集2
Begin



会を行いました。引き続き、中国の著名人・文化人・経済人をコーディネートし、立命館孔子学院主催のブランド講座として展開を図りたいと思っています。中国語講座、立命館孔子学院講座、文化交流事業AVライブラリー（図書室）の一般利用等が既にスタートしていますが、今後も立命館孔子学院は他の孔子学院との「違い」を意識し、ユニークな取り組みをアピールしていきたいと考えています。

これから、世界的に孔子学院の数は増えていくでしょう。アジア太平洋地域の中で非常に身近なパートナーである中国、そして各国の孔子学院との連携を今まで以上に強化し、立命館学園および立命館孔子学院の可能性を広げていきたいと思っています。

この一月初旬に、北京大学対外漢語教育学院と中国国家対外漢語教學領導小組辦公室（以下、漢弁）を訪問し、それぞれ当面の取り組みについての意見交換を行ってききました。北京大学とは、派遣者の確定も含

め、協力のあり方についての具体的な話し合いを持ちました。漢弁とは、HSK試験の運営・実施やテキスト開発の取り組み、中国語スピーチコンテストの実施、留学生への奨学金支給、今後の継続的な支援等について話合いました。いずれも、日本初の孔子学院である立命館孔子学院への期待が強く表明されています。

立命館孔子学院の展開

立命館孔子学院の専用施設である事務室、講義室、AVライブラリー（図書室）は、立命館大学の「アカデミア立命21」の二階にあります。講座により、立命館大学内の教室等も利用しています。

今後、東京や大阪のサテライト教室においても、事業展開を行う計画です。さらに立命館アジア太平洋大学における展開についても検討したいと考えております。

立命館孔子学院講座 のご案内

第4回 2006年4月22日（土）
午前10時～11時30分

『文学に見る〈上海モダン〉』

斉藤敏康 立命館大学経済学部教授

場 所：立命館孔子学院講義室
参加費：500円（お茶・お菓子付き）

※原則として毎月一回、土曜日に開催。
5月以降の日程等はお問い合わせください。

第55回全日本学生法律討論会(昨年12月)の立論の部で、本学法友会の大谷俊介さんが、法友会の史上2度目となる全国優勝を成し遂げた。本学で開催され、法友会としても力を入れた大会。「みんなで勝ち取った勝利です」と喜びを語る大谷さんに伺った。

法友会について教えてください。

法友会は学生約30名で構成された団体で、1回生向けの法律基礎レクチャーと法律討論会への出場が主な活動です。

討論会の面白さは、何といっても、点数がついて順位が競えること。何かで日本一を目指したかった僕には、ぴったりでした。

全日本学生法律討論会とは、どのような大会ですか？

全国の大学の法律系サークルが競い合う大会で、年間7回ほどある法友会が出場する討論会の中でも最も権威ある大会です。

審査員も兼ねる教授によって出された問題に、各大学で論旨を作成し、代表者が論者として規定時間内で発表します。それに対して他大学が質問を行い、その論旨と質疑応答について6人の審査員が審査して順位を決定するというものです。高等裁判所の判事の方も招くなど、審査は厳正です。

今回の大会はいかがでしたか。

立命館大学での開催だったので、多くの部員は、開催責任者の松野靖弘さん(法3)を中心に運営側に回ってくれました。最高裁判所との折衝など、準備にはかなりの手間がかけられました。出題は毎回開催校の教授がすることになっているため、本学法科大学院の松宮孝明教授にお願いしました。

Rits One ときの人



大谷 俊介 さん

法学部3回生
立命館大学法友会

第55回全日本学生法律討論会 [立論の部 優勝] 議論する中で自分が磨かれていく

【問題文】

車中で妻Bを待っていたXは、目の前でいきなり強盗Aに襲われたBを助けようとして、とっさに、車をAにぶつけようとした。しかし、車はAの身体に当たって軽い怪我を負わせただけでなくBにも衝突し、彼女に重傷を負わせてしまった。おかげで、Aは、Bのハンドバックをやすやすと奪って逃げることができた。

このような事案について、以下の場合に分けてXの罪責を論ぜよ。

- (1) Xは、自己の車が重症を負わせるとは夢にも思っていなかった。
- (2) Xは、Aに車をぶつけようとした際、もしかするとBにも衝突するかもしれないと考えたが、Bを救出するためには少々のリスクはやむをえないと考えた。

法友会の仲間や先輩たちの助けを借りながらの論旨の作成でしたが、まずは類似の判例を学習するところから始めました。膨大な資料を読み、理解していきました。

おおたに しゅんすけ

日本一を目指すサークルに入りたいと考え、2002年度に全日本学生法律討論会で初優勝を果たしていた法友会に入部。「法学の本質は議論すること。議論する中で論理が磨かれていく」と討論会の魅力について語る。

ホームページもご覧ください
<http://www.ritsumeai.ac.jp/infostudents/index.html>

討論会の問題は司法試験レベル以上のもので、そう簡単には結論が出せません。

基本的に、Xの故意責任を否定するところまでは問題ないと思ったのですが、過失責任については最後まで悩みました。刑事裁判で無罪判決が稀であるように、討論会における「無罪答案」もまた、勇気の要る選択だとされています。

結局は、Xに刑事責任を問うことは酷であるとの判断から無罪にしましたが、検察官の先生も「この事件はそもそも起訴しない」とのことでしたので、結論としても妥当だったのだと胸をなでおろしました。

準備をしっかりとできたことが優勝の要因だったと思います。法友会のみんなが喜んでくれたことが、一番嬉しかったですね。協力してくれたみんなに感謝するとともに、充実感を感じています。やはり、在学中に

何かをやり遂げると決めて取り組むことが、充実した学生生活を送る秘訣なのではないでしょうか。

今後について聞かせてください。

法友会は3回生で引退です。今後はOBとして後輩たちに法律のおもしろさを伝えていけたらと思っています。

現在ゼミでは「先端科学技術の政策と法」について勉強しています。今後必ずぶつかる問題だと思うので、しっかりと取り組んでいきたいです。卒業後は法科大学院で学びを継続し、最終的には法律に関わる仕事につけたいと考えています。



大学院による法律実務等に関する専門講座を開講

大学院法学研究科と法務研究科（法科大学院）は、日本弁護士連合会（日弁連）法務研究財団と共催で弁護士や弁理士を対象に「知的財産法の実務に関する特別研修講座」を二〇〇六年二月から立命館アカデミア@大阪で開講しています。今日、知的財産の保護強化は日本の産業の国際競争力の強化を図る上で最も重要な課題の一つに位置づけられており、知的財産をめぐる法律問題に適切に対処するための知識と能力を持った実務家の養成が急務となっていることに応えたものです。

また、二〇〇六年四月より「金融と法」東京講座を開講。本講座は、二〇〇三年度からスタートしたもので、金融工学を利用した先端的金融取引について「金融技術とリーガルエンジニアリング」を研究テーマに、その基礎および応用を法学的見地から実践的に教育研究することを目的としています。受講者は、金融政策・金融実務の最前線で活躍する官僚や企業人を対象にしており、本学における教育研究の成果を社会に還元する先進的な取り組みとして注目されています。

そのほか、法学研究科では、近畿税理士会と提携して「税理士法上の補佐人研修プログラム」を開講してきました。二〇〇一年五月の税理士法改正により、税理士は補佐人として税務訴訟等に関与することが可能となりました。これを受け、この講座では補佐人としての税理士に必要な法的知識の修得およびその実務の運用の研修を行っています。

教育委員会との連携協力が進む

京都府教育委員会との間で連携協力に関する協定を締結し、高校教員との交流や情報交換、高大連携のプログラムや学校ボランティア・学校インターシッピングなどの多彩な連携を進めて

います。京都府教育委員会とはすでに二〇〇四年三月に協定を締結していますが、立命館大学が文部科学省の教員養成GP（グッドプラクティス）に採択されたことを契機として、これまでの高校を中心とした連携から小中学校を含めた連携に発展させることとし、新たな連携協力を締結したものです。

また、堺市教育委員会との間でも連携協力に関する協定およびインターシッピングに関する覚書を締結しました。堺市では二〇〇六年度より政令指定都市になるにあたり、教職員の資質向上や教員養成の充実が課題となっており、本学においては南大阪地域から通学している学生も少なくないことから、学校インターシッピング等の機会を学生に提供することも視野に入れて、積極的な連携を進めていくこととなりました。

さらに、大阪市教育委員会とは、学生による学校教育活動への支援に関する協定書を締結し、学校ボランティアを積極的に派遣していきます。

法学部および文学部において高大連携協定校プログラムを開設

法学部と文学部は、京都と大阪の複数の高校と「高大連携に関する協定」を締結しました。これにもとづいて、二〇〇六年四月より、高校三年生を対象に対面型の連続講義を実施し、プログラム修了者を対象にした「高大連携特別推薦」の入学制度を創設します。

法学部では、「法学教育プログラム」を開設。学校教育においても「法教育」の重要性が指摘される中、「株式市場のルールと法」「ライブドア問題から考える」などの現代的なテーマを扱いながら法学の基礎的分野に関する体系的学習の機会を提供し、高校生に法学への興味関心や法学を学ぶことの意義を伝えます。

文学部では、「アカデミックプログラム」を開設。「ことばと文学の楽しさ」「古文書の楽しさ」「フィードの楽しさ」などのテーマを設定し、人文学の魅力を知ってもらいます。

今回協定を締結したのは、法学部が京都府と

大阪府にある十七高校、文学部が京都府下の十一高校です。

大学の研究成果を中高生にわかりやすく発信



立命館大学は、日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス」ようこそ大学の研究室へ「TAKEHITI」事業に採択されました。これは、科学研究費補助金に採択された最先端の研究成果を中学生や高校生にもわかりやすく発信し、学術研究と日常生活とのかわりや学ぶことへの興味関心を高めることを目的としています。二〇〇五年十一月十九日に「デジタル地図を使って学ぼう！身近な地域の地理情報」、二〇〇六年一月十四日に「障害のある人に役立てる携帯電話をテーマに講義と実習を実施、多くの中高生が参加し、大学における最先端の研究を体験しました。

東アジアにおける総合的な連携・研究拠点の形成

■グローバル化時代にふさわしい国際的な連携・研究拠点の形成を進めるため、二〇〇五年七月に「立命館大学東北アジア地域研究センター（センター長・松野周治 経済学部教授）」を開設しました。また、中国の大連市や京都府舞鶴市など、国内の自治体や研究機





関との協力を基礎にした「東北アジア地域協力研究推進機構」を同年九月に設立するなど、国際産学公連携による東北アジアにおける地域協力の発展に向けた研究活動を進めてきました。こうした成果の一つとして、外務省より「平成十七年度日中知的交流推進事業」の指定を受け、新たな日中地域間協力の可能性について研究を深めてきました。二〇〇六年一月二十六日には、センターの開設を記念した国際シンポジウム「中国東北振興戦略の現段階と新たな日中地域間協力―国有企業改革と循環型社会経済の構築を中心に―」を開催しました。

■また、朝鮮半島・現代韓国・日韓関係の専門研究機関として二〇〇五年六月に「立命館大学コリア研究センター（センター長・徐勝法学部教授）」を設立しました。同センターでは、現代コリアの総合的な研究と交流を通じて日韓相互理解や友好関係の発展をめざしており、朝鮮半島理解のための地域社会に開かれたセンターとして活発な活動を展開しています。二〇〇六年二月には、特別公開シンポジウム「東アジアに発信され拡散する韓国文化力の可能性」を開催し、これまでの研究成果を社会に発信しました。

広がる産学官連携の取り組み

■「関西地域活性化」を目的として、りそな銀行とタイアップし、様々な共同施策を推進しています。立命館大学では二〇〇六年四月に専門職大学院・経営管理研究科を開設しますが、こうした本学が有する研究・人材育成機能と、りそな銀行が有する金融ソリューション機能を関西地域に還元することを通じて、広く地域や経済の発



展に貢献することをめざしています。二〇〇六年一月二十五日には、「Rits×RESONA」ラポートセミナーを実施。今後も広くビジネスに関する多彩なテーマを取り上げて定期的にセミナーを開催します。

■同志社大学、早稲田大学、慶応義塾大学と立命館大学の東西四大学は、産学官連携の強化充実を目指して二〇〇六年三月十日に東京・大手町の経団連会館で「産学官連携フォーラム」を開催しました。これを契機に四大学では、知的財産活動と産学官連携に関する情報共有の場（産学官連携情報共有ネットワーク）の設置や大学間連携を進め、大学における「知の創造」を促す仕組みと大学間連携の新たなモデルづくりをめざします。

■アントレプレナーシップ教育やベンチャー・インキュベーター・コンソーシアム」の活動を推進しています。二〇〇六年一月二十四日には、愛媛県西条市における中小企業・ベンチャー支援の取り組み報告や学生ビジネスプラン発表会を行いました。



立命館アジア太平洋大学（APU）「クロスオーバー・アドヴァンスト・プログラム」を新設

立命館アジア太平洋大学（APU）では、二〇〇六年四月より、学部の枠を超える学際的な教育プログラム「クロスオーバー・アドヴァンスト・プログラム（CAP）」（募集人員四百五十人）を開設。「ツーリズム&ホスピタリティ」「健康・環境・生命」「国際戦略」「ICT（informa-

tion & Communications Technology）「言語文化」の五つのプログラムを展開して、現代社会が抱える諸課題を総合的・学際的な観点から追求します。

立命館大学の教職員による本の出版

『アスベスト問題―何が問われ、どう解決するのか』の発刊

岩波書店より『アスベスト問題―何が問われ、どう解決するのか』（宮本憲一、川口清史、小幡範雄編）が発刊されました。アスベスト災害・公害は、被害の規模や複雑さ、他国への波及、そして解決の困難性を考えると人類史上最大の社会的災害となる可能性があります。立命館大学政策科学部では、二〇〇五年九月に学際的な視点に立った緊急学習会を開催することにも、二〇〇五年十月の「立命館土曜講座」においてアスベスト問題に関する公開講座をシリーズで開催しました。本書はこれらの成果を取りまとめたもので、「政策科学」という諸科学の総合を通じた学際的アプローチによってアスベスト問題の解決に迫っています。

『大学行政論』の発刊

東信堂より『大学行政論』（川本八郎、近森節子編）が発刊されました。立命館大学では、二〇〇五年四月、次代の求める大学アドミニストレーターを養成するために「大学行政研究・研修センター」を開設しました。本書は、同センターの「幹部職員養成プログラム」の一環として各部門の幹部職員が講師となつて半年間に渡りリレー方式で開講された授業「大学行政論」の講義内容をまとめたものです。引き続き後編として『大学行政論II』の発刊を予定しています。九十年代に入つて「改革のフロントランナー」と評されてきた立命館大学の改革を支えてきた職員集団が、自らの仕事をいきいきと語っています。

衣笠



国際シンポジウム「インタラクティブ・エンタテインメントの歴史と展望」開催

十二月二日(金)、国際シンポジウム「インタラクティブ・エンタテインメントの歴史と展望」が開催された。文部科学省により採択を受けた本学の研究事業(文部科学省21世紀COEプログラム「京都アート・エンタテインメント創成研究」、文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事業「デジタル時代のメディアと映像に関する総合的研究」)の成果の公表がなされることも、コンピュータ技術を駆使したゲームの研究開発者らによって、この分野の発展

の歴史や将来展望が活発に討論された。

まず、立命館大学学芸学部教授の武邑光裕氏が、大学がゲーム制作のクリエイター育成にいかに関わるかについて基調講演を行った。続いて、第一部「ゲームデザイン・テクノロジーの源流」、第二部「ゲームデザイン・テクノロジーの今と未来、それぞれのシンポジウムが行われた。



インド洋大津波支援国際シンポジウム「災害時にむけて大学は何をなすべきか―責務と役割」開催

十二月八日(木)・九日(金)両日にわたり、立命館学園が取り組むインド洋大津波災害復興支援の一環として国際シンポジウムが行われた。



はじめに、立命館アジア太平洋大学のモンテ・カセム学長が、「災害直後に大学が役に立っていることは少ないが、中・長期的には人材開発などの分野でできることがある。目に見えない知的分野での協力が重要である」と述べた。

続いて、日本赤十字社社長の近衛

忠輝氏が「人道は人情を越えられるか」と題した基調講演を行った。近衛氏は「人情の質と量に左右されているのが現在の援助だが、人道は基本的な人権として、公平でなければならぬ」と語り、人道的援助の重要性と現在の問題点に触れた。

その後、災害援助に関する六つのセッションが行われ、災害の多面性や大学としてできることなどをテーマに幅広い議論がなされた。

あわせて、衣笠・BKC・APU各キャンパスを巡回する「インド洋大津波一周年報道写真展」が開かれ、来場者は報道各社から提供された百六十五点の写真に熱心に見入っていた。

立命館大学オペラ鑑賞講座「フィガロの結婚」開催

十二月十日(土)、立命館大学オペラ鑑賞講座が開催された。

この講座は、日頃なじみの少ないオペラを学生が気軽に低料金で鑑賞

できるように企画されたもので、学生実行委員会の協力のもと、京都オペラ協会会員によって上演された。

第一部では、音楽監督の饗場知昭氏がオペラの魅力や「フィガロの結婚」の聞きどころの解説を行い、「フィガロの結婚」第二幕が上演された。第二部では、総監督を務めたミッシェル・ワッセルマン国際関係学部教授がストーリーと演出を解説。そし

て第一幕と第三幕が上演された。

前週の三日(土)には、BKCにおいて同じ講座が開かれた。



海外留学生プログラム「Study in Kyoto Program」修了式挙行

一月二十四日(火)、衣笠キャンパスにおいて、海外留学生プログラム「Study in Kyoto Program」(以下SKP)の修了式が行われた。式典には、二十九名のSKP卒業生の他に、在学中の交換留学生、日本語教員、日本人のバディ、職員が参列した。



卒業生の代表としてビヨーン・オール・カムさん(ドイツ・ライプツヒヒ大学)がSKPでの経験について語った後、卒業生全員が一言ずつ述べた。最後に、北出慶子SKPコーディネーターが祝辞を述べ、「留学期間中に経験したこと、学んだことをこれからも生かしてほしい」と留学生に語りかけた。式典後には諒友館食堂でレセプションが行われた。

APU附属校



APU開学五周年記念「アジア国際英語教育シンポジウム」開催

十一月二十六日(土)・二十七日(日)、立命館アジア太平洋大学開学五周年記念事業の一環として、「アジア国際英語教育シンポジウム」が開催された。成果を収めていると言われるアジア各国の先進的な英語教育

の実態に焦点を当て、それらの経験から今後の「アジア太平洋時代」における英語教育はいかにあるべきかを探るとともに、日々の教育実践に役立つ情報を交換し合うことをねらったものである。

B
K
C

『冬の国際交流企画』

異文化フェスティバル2005 開催

十二月十四日(水)、BKCの学生交流施設セントラルアークにおいて「冬の国際交流企画」を開催した。

このフェスティバルは、留学生と日本人学生が交流する毎年恒例のイベント。今回は、中国・ミャンマー・ウズベキスタン・フィリピン等の国々からの留学生による伝統舞踊や、日本の雅楽等のステージ企画が充実しており、訪れた学生は初めて見る文化や民族衣装に関心を寄せて

いた。ベトナムの留学生によるバンブーダンスには来場者も参加して盛り上がった。茶道・剣玉・エスベラ

ントといったブーッの体験コーナーにも多くの学生が足を運んでいた。屋外では、山形県から招かれたボランティアの方々今年も餅つきをご披露いただいた。多くの留学生も餅つきを体験した。

知的財産シンポジウム
『東アジアにおける知財戦略と企業経営』開催

一月二十日(金)、知的財産シンポジウム「東アジアにおける知財戦略と企業経営」台頭する地域にどう向き合うか」が開催された。文部科学省による大学知的財産本部整備事業の一環として、立命館大学知的財産本部及び経営管理研究科(二〇〇六年四月開設)が主



催したもの。国策としての知財のありかたや、企業における知財の実態からの考察を交えて、「産学官」が抱

える知的財産の諸課題がグローバルな視点で議論された。

初めに特許庁長官の中嶋誠氏が「知的財産立国を目指して」と題した講演を行い、日本の知的財産政策ならびに中小企業への支援策、模倣品・海賊版への対策、大学に期待される役割等について語った。続いて法務の専門家や企業の担当役員等が急速に変化する中国市場や、そこでの特許制度、模倣品の実態等々について解説し、対策事例を紹介した。

その後パネルディスカッションも行われ、参加者は時折折メモを取りながら真剣な表情で聞き入っていた。

『産学協同アントレプレナー教育プログラム』
記念講演会開催

二月一日(水)、「産学協同アントレプレナー教育プログラム」記念講演会を開催した。この教育プログラム

は、「自立的で創造的な人材」「起業家精神に満ちた人材」の育成を目指して設けられるBKC文理四学部共

モンテ・カセムAPU学長は、開会挨拶の中で自らの英語と日本語習得の苦労話に触れ、身近で親しみのあるオープニングとなった。記念講演は、立命館大学客員教授で元国連事務次長の明石康氏が、「危機的状況にある日本の英語教育」をテーマに行った。

二日目は、各国の教育機関の代表が、APUの学生と近隣の高校生

を生徒役にした模擬授業を行った。日本の英語教育界の、先進的な英語教育事例に学ばなければ立ち遅れるとの危機感にも似た意識を背景にしたが、教室に入りきれない参加者が出るほどの盛況であった。

立命館宇治中学校
日本フライングフットボール選手権大会で優勝!

一月三日(火)に行われた日本フライングフットボール選手権大会決勝で、西日本代表の立命館宇治中学校パンサーズが東日本代表の立教中学

ラッシャーズ(立教新座中学校と立教池袋中学校の合同チーム)を52・31で破り、日本一の栄誉に輝いた。パンサーズはラッシャーズに、二〇〇五年八月に行われたNFLフライングフットボール日本大会の決勝戦で一度敗れており、今回雪辱を果たしたことになる。

通のプログラムで、インキュベータ施設やインターンシップなどの制度を活用して二〇〇六年度から本格的に開講される。またこのプログラムは、二〇〇五年度に文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」に採択されたものである。

講演に先立ち、本プログラムの開発にあたりインターンシップ受入や講師派遣等にご協力いただく企業等が参画しての「キックオフ・ミーティング」が開催された。

講演会では、株式会社堀場製作所最高顧問である堀場雅夫氏が「自今

生涯」をテーマに講演した。堀場氏は、日本の戦後復興に大きな役割を果たした資本主義経済や科学技術の進歩の限界を指摘。二十一世紀は個人の倫理観が大きな意味を持つと語り、「未来は予言するものではなく、現在を最大に生かすことでつくり上げるものだ」と述べた。学生による質疑応答も行われた。



TS



第4回全日本学生囲碁王座戦 (12月20日～22日 日本棋院)

武田 淳 (文1) 準優勝

将棋研究会

第34回全日本学生将棋十傑戦 (12月24日～25日 四日市文化会館)

鈴木雄貴 (国4) 優勝



第26回学生女流名人戦 (12月24日～25日 四日市文化会館)

石内奈々絵 (国4) 優勝 (4連覇達成)

白蛇烏 (自主サークル)

第22回NHK全国大学放送コンテスト (12月10～11日 京都アスニー)

ラジオドラマ部門 優勝

第22回NHK全国大学放送コンテストラジオドラマ部門において、自主サークル白蛇烏が制作した『ごきぶり女』が1位に選ばれた。また、各部門第1位獲得作品の中から特に優秀な1作品に贈られる「文部科学大臣奨励賞」も受賞した。この作品は、2月9日(木)にNHK-FMでON AIRされた。

立命館大学バトントワリング部 創部10周年記念公演 『upon the earth』開催

(1月8日 びわこホール 大ホール)

立命館大学バトントワリング部が創部10周年を記念し、自主公演を行った。現役部員とOBによる華麗な演技に、会場を満員にした来場者から盛大な拍手が送られた。

定年退職

教職員紹介

誌面の都合上、専門等は
大学教員のみ紹介します。
敬称略

教授

●立命館大学 法学部教授

山口幸二 (やまぐち こうじ)
専門/多文化主義と多言語主義 言語学、日本語教育

産業社会女子部教授

伊藤武夫 (いとう たけお)
元・産業社会学部長、社会学研究科長
専門/工業化と社会変動、現代社会論
メディアと社会

産業社会女子部教授

加藤直樹 (かとう なおき)
元・立命館中学校・高等学校校長
専門/発達心理学、社会福祉学

産業社会女子部教授

中川順子 (なかがわ じゅんこ)
専門/社会学

産業社会女子部教授

深井純一 (ふかい じゅんいち)

専門/地域経済論、地域計画論、公害・災害史

産業社会女子部教授

和田 武 (わだ たけし)
専門/環境保全論

国際関係女子部教授

安齋育郎 (あんさい いくろう)
国際平和とミュージアム館長
専門/平和学、放射線防護学、科学教育

文学部教授

上田 博 (うへだ ひろし)
専門/日本近代文学、国文学

文学部教授

須原芙士雄 (すはら ふじお)
専門/人文地理学

文学部教授

松宮秀治 (まつみや ひではる)
専門/十八世紀ドイツ文学、美術史

法務研究科教授

吉川義春 (よしかわ よしはる)
専門/取締役の第三者に対する責任
代表訴訟、民事裁判、民法

経済学部教授

田中宏道 (たなか ひろみち)
専門/経済理論

経済学部教授

濱田盛一 (はまだ せいいち)
専門/商法、企業法

経済学部教授

浪江 巖 (なみえ いわお)
元・経営学部長、経営学研究科長
専門/人的資源管理論、労使関係論

理工学部教授

竹中 彰 (たけなか あきら)
専門/素粒子物理学

理工学部教授

田中武司 (たなか たけし)
専門/精密加工学

理工学部教授

見野和夫 (みの かずお)
専門/地震予知、ガンマ線探査

理工学部教授

西脇 一字 (にしわき かずい)

専門/熱工学

情報理工学部教授

遠藤裕英 (えんどう ひろひで)
専門/情報工学

情報理工学部教授

飯田健夫 (いいた たけお)
情報理工学部長
専門/人間工学

情報理工学部教授

●立命館アジア太平洋大学
アジア太平洋学部教授

アジア太平洋学部教授

鈴木 紗子 (すずき いとこ)
元・アジア太平洋学部長
専門/Local Environmental Governance

アジア太平洋学部教授

張 坤民 (ちゃん くんみん)
専門/中国の環境管理政策と持続可能な開発

アジア太平洋マネジメント学部教授

山浦雄三 (やまうら ゆうぞう)
専門/アジア太平洋地域の経済・産業の動向分析と発展戦略

教諭

立命館中学校・高等学校教諭
南 直樹 (みなみ なおき)

立命館中学校・高等学校教諭

日高俊行 (ひだか としゆき)
立命館宇治中学校・高等学校教諭

山縣桂子 (やまがた けいこ)

事務職員

理事長室

木野 明 (きの あきら)
大学行政研究・研修センター

近森節子 (ちかもり せつこ)
法学部事務室

宮澤正男 (みやざわ まさお)
教育文化事業課

山辺昌彦 (やまべ まさひこ)
BKC教學部門

亀田康治 (かめだ こうじ)
衣笠学生センター

園田充則 (そのだ みつり)
産業社会女子部事務室

中村和平 (なかむら かつとし)
教務センター・経営学部

山崎知恵子 (やまざき ちえこ)
経理課

高木律子 (たかぎ りつこ)

SPORTS & EVENTS

SPORTS

問い合わせ先：スポーツ強化センター
075-465-7863



アメリカンフットボール部

第60回 甲子園ボウル

(12月18日 阪神甲子園球場)

●14-17〇 法政大学

惜しくも4年連続の「学生日本一」・ライスボウルへの出場権獲得はならなかった。



アイスホッケー部

第78回 日本学生氷上競技選手権大会

(1月6日～7日 帯広の森アイスアリーナ)

ベスト8



硬式野球部

奈良県知事杯争奪 第9回 大学・社会人野球大会

(11月12日～14日 橿原公苑野球場)

優勝



航空部

第25回 東海・関西グライダー競技会

(11月11日～19日 木曽川滑空場)

団体7位 (全国大会出場権獲得)



ゴルフ部

関西学生女子マッチプレー選手権

(11月29日～12月2日 滋賀県ザ・カントリークラブ)

1位 香山麻央
(法4)



サッカー部

第54回 全日本大学サッカー選手権大会

ベスト8



射撃部

第31回 全関西学生ライフル射撃新人戦
及び 不朽戦

(11月11日～13日 徳島県ライフル射撃場)

新人戦 10mS60

団体1位

川端さなえ (法1) 1位

不朽戦 50m3×20

松本真由美 (文4) 1位

不朽戦 50mP60

織田健太 (産4) 1位



柔道部

京都・パリ姉妹都市友好柔道大会

(11月23日 日本武道館)

男子 60kg級

矢野真広 (政3) 1位

男子 90kg級

三宅浩之 (産3) 1位

女子 63kg級

古賀慶子 (文2) 2位



軟式野球部

第22回 西日本大学軟式野球選手権大会

(11月27日～30日 愛媛県坊っちゃん球場 他)

3位



フェンシング部

全日本フェンシング選手権大会

(12月15日～18日 神戸市中央体育館)

男子フルーレ 坪井浩平 (産3) 3位



陸上ホッケー部 (男子)

第79回 全日本男子ホッケー選手権大会

(11月20日～23日 山梨学院ホッケースタジアム 他)

2位



男子陸上競技部

第72回 京都学生駅伝

(12月4日 京都洛北コース)

優勝 (36年ぶり25度目)



女子陸上競技部

第3回 全日本大学女子選抜駅伝

(2月19日 埼玉県庁～上尾運動公園陸上競技場)

優勝 (3連覇)



ラクロス部 (男子)

第16回 関西学生ラクロスリーグ戦 1部リーグ

2位

CULTURE/ART

問い合わせ先：学生センター
075-465-8141



囲碁研究部

第49回全日本大学囲碁選手権

(12月23日～26日 日本棋院)

団体 優勝 (2連覇)

関西代表として出場した立命館大学は、早稲田大学などの強豪がひしめく中、2004年の初優勝に引き続き2連覇を達成した。

＊私の所属する学生法律相談部OB・OG会の創立50周年記念式典を、昨秋の衣笠学園祭夜祭日に、中川会館校友ロビーをお借りして盛大に開催しました。校友会本部は今秋に朱雀キャンパスに移転するため、当部にとっても「最後の」衣笠中川会館での記念式典となりました。

今春開校する立命館小学校と、今秋開校する朱雀キャンパス。京都市内では中心部に「Rits」のシンボルマークが新たに登場します。新しい歴史に向かって歩みはじめる我が部のOB・OG会も、今秋「最初の」朱雀キャンパス中川会館で懐かしい顔ぶれに再会したいと思います。（宮西徳明）

＊過日愚妻と、晴れた昼下がりに京都御苑の清和院御門付近を散策していたところ、現役時代、各部活（小生は、軽音楽部に所属）の練習場所としてお世話になった、北側の懐かしい芝生のスペースが眼に入った。今は誰一人として居ず、隔世の感を禁じ得ない。北側の森に向けて歩を進めると覚えのない築地塀があり、立入厳禁と表示のある通用門に達してしまった。それは即ち多数の我校友が種々建設及び制作に関わったと伝えられている京都迎賓館であった。其の後、立命人の心の拠り所である広小路の昔のキャンパス付近も散策したところ、簡単な記念碑が存在するのみであり、何と無くうら寂しさが込み上げた次第であった。昭和56年卒以前の校友の皆様は、如何ですか。（仲治貴）

＊雪が多かった今年も、水仙や梅の花が春を運んでくる。そして、新しい自己実現の道へと学び舎を飛び立つ時期がきた。

新校友のみなさん、夫々の地域で、また外国でも、「立命館校友会」を尋ねてください。そこには、同じ学舎で学び、いま社会で頑張っている仲間がいる。交流できる仲間、語り合う仲間、趣味や行動などを共にできる仲間がいる。

先日、同窓会に在学学生を招待した。彼らは「先輩に囲まれて、勇気をもらった」と語った。また、在学生の卒業作品展に参加した。甲子園のパンサーズ応援で出合った後輩だ。同窓の仲間には、垣根を感じない和やかさがある。（Kaz）

りつめい No.224/2006年4月号

発行所/立命館大学校友会/年4回発行

発行人/山中 諄

編集人/尾崎 敬則

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

Tel. 075(465)8120・8124

Fax. 075(465)8125

URL: <http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/al/>

E-mail: alumni@st.ritsumeai.ac.jp

●校友会・グループ インフォメーション（新校友歓迎会は下欄）

※(職)は職場電話番号

校友会・グループ	日時	会場	問い合わせ先
読茶会(茶道研究会OB会)60周年総会	4/15(土)13:30	アピカルイン京都	福田 勝 0598(21)4654
応化会中・四国支部設立総会	5/14(日)15:00	未定(広島市内予定)	応用化学系事務室応化会事務局 077(561)2658
宮城県校友会総会	5/28(日)11:00	仙台勝山館	百崎 馨 022(371)5218
静岡県校友会2006年校友の集い	5/28(日)15:30	ブケ東海静岡	佐藤友清 054(246)2065
高槻・島本地区校友会総会	6/10(土)18:30	たかつき京都ホテル	田中英俊 072(695)9360
法学部同窓会総会	6/17(土)14:00	京都弥生会館	法学部事務局 075(465)8175
新潟県校友会総会	6/24(土)15:00	万代シルバーホテル	小野守通 (職) 025(385)4222
神奈川県校友会総会	7/1(土)14:30	崎陽軒本店	長谷川貞栄 045(933)4662
大阪校友会年次大会	7/7(金)18:30	ホテル阪急インターナショナル	大阪オフィス 06(6201)3610
京都校友会八幡支部総会	7/8(土)14:00	八幡文化センター	滝川孝治 075(982)5191
香川県校友会総会	7/15(土)16:00	喜代美山荘「花樹海」	田村晴彦 087(843)7275
長野県校友会総会	7/23(日)16:00	ホテルモンターニュ松本	猿田 誠 0263(36)3455
All-Rits 立命館校友大会	11/4(土)17:00	ホテルグランヴィア京都	校友会事務局 075(465)8120

●校友消息(判明分)

叙勲 2005年秋分

旭日双光章

水瀬 勇氏(57理工)
(社)日本タンナーズ協会副会長

受章

竹山博英氏
(本学文学部教授)
イタリア連帯の星褒章
(ガヴァリエール勲位三等)

就任

木村正史氏(67経営)
新菱冷熱工業(株)常務取締役

訃報

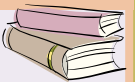
松田利定氏(65文)
(本学名誉教授)
12月14日ご逝去。67歳。

辻 善夫氏
(本学名誉教授)
12月27日ご逝去。74歳。

堀田誠一氏(55経済)
(高知県校友会会長)
2月11日ご逝去。74歳。

BOOKS

校友会へご惠贈下さいました本の中から紹介させていただきます。



◆村上哲大氏('62法)著
『仕事の価値を劇的に
高める 目的発想法』
こま書房 * 2857円

◆長谷川清氏('74法)著
『登記簿別情報取扱
ハンドブック』
民事法研究会 * 1650円

◆手島 仁氏('83文)著
『中島知久平と国政
研究会(上巻)』
みやま文庫

◆鹿見重文氏('84法)著
『魚屋めぐり・魚の買い方』
清風堂書店 * 1000円

◆岩谷 薫氏('92法)著
『Talking with Angels
ーロンドンの天使達ー』
パロル舎 * 1800円

◆今中賢一氏('94国関)著
『コロンビアとパナマを旅する
ー石畳の街を訪ねてー』
文芸社 * 1300円
価格は本体価格です。

2006年度モニター募集

『りつめい』各号の内容に関するアンケートにご協力いただける方を募集します。
期間は2006年7月号(No.225)から1年間です。

葉書・FAX・電子メールのいずれかに、住所・氏名・卒年・学部・職業を明記の上、校友会事務局編集係までご応募ください(事務局連絡先は当ページ左下をご覧ください)。

締切: 5月10日(水) 事務局必着

新校友歓迎会のお知らせ

◆関東新校友歓迎会

ー All Rits 春の祭典 ー

【日時】6月17日(土) 13:00

【会場】有明パナソニックセンター1階ホール
【アクセス】ゆりかもめ有明駅/りんかい線国際展示場駅(下車すぐ)

【会費】新卒校友……………1,000円
2000年以降卒業校友……………3,000円
1999年以前卒業校友……………4,000円
【詳細URL】<http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/al/shibu/tokyo/>

問合せ先: 立命館東京オフィス
tokyo@st.ritsumeai.ac.jp
Tel. 03-5204-8611

※本歓迎会は首都圏各校友会の共同企画です。

◆大阪地区新人歓迎会

【日時】6月4日(日) 12:00

【会場】中之島倶楽部(大阪市中央公会堂地下1F)
【アクセス】地下鉄御堂筋線・京阪電鉄 淀屋橋駅

問合せ先: 立命館大阪オフィス
Tel. 06-6201-3610

◆京都春風会新人歓迎会

【日時】5月27日(土) 14:00

【会場】衣笠キャンパス中川会館4F校友ロビー
【詳細URL】<http://www.rsbk.org>

◆愛知県校友会新歓パーティー

【日時】6月10日(土) 16:00

【会場】ザ・ワインバー(名鉄レジャック8F)
【アクセス】名古屋駅下車 笹島交差点南西角
【詳細URL】<http://www.rits-aichi.net/>

◆静岡県校友会駿府会 新人歓迎納涼ビアパーティー

【日時】7月28日(金) 19:00

【会場】追って下記ホームページに掲載
【詳細URL】http://www.geocities.jp/rits_shizuoka/

※この他、決定次第校友会ホームページでお知らせします。

立命館大学入学式参観のご案内

2006年度入学式が、来る4月3日(月)に行われます。立命館大学の入学式は、式典とともに学生諸君が様々な歓迎イベントを繰り広げることで知られています。校友の皆様にも学生たちの発刺とした姿をご覧いただきたく、ご案内いたします。参観ご希望の方は、下記のとおりお申し込みください。

日時: 4月3日(月) 14:00

式場: 京セラドーム(大阪ドーム)

申込方法: 葉書・ファクシミリ・電子メールのいずれかに、住所・氏名・卒年・学部を明記の上、校友会事務局までお申し込みください(事務局連絡先は当ページ左下をご覧ください)。

締切: 3月24日(金) 事務局必着

※申し込み無き方にはご参観いただけません